

News Photo

2018年5月9日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2018 年 5 月 4 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF、ブルーダーミュラーがボックの後任として取締役会会長に就任



BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)は 2018 年 5 月 4 日に年次株主総会を開催し、終了後に Dr. マーティン・ブルーダーミュラーが BASF 取締役会会長に就任しました。写真は、株主総会にて前会長の Dr. クルト・ボック(左)が、3D プリンターで制作した模型(貯蔵タンクの頂点を目指して階段を登る社員)を手に、後任のブルーダーミュラー(右)を紹介している様子です。ボックは退任後 2 年間の法定冷却期間を経て、2020 年に BASF 監査役会の会長に選出される予定です。ブルーダーミュラーは、

2006 年より BASF SE の取締役を務め、2011 年からは取締役会副会長、2015 年からは最高技術責任者 (CTO) を兼務してきました。

ボックとブルーダーミュラーが手にしている貯蔵タンクの模型は、cirp 社 (ドイツ ハイムスハイム) がポリアミド 2200 を材料に SLS 方式で制作したものです。BASF は、3D プリンティング関連分野において、材料、システムソリューションやサービス等、幅広いポートフォリオを有しています。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。